

電力消費の増加と、部門ごとの違い

結果

2024年度の最終電力消費は8,808億kWh。公表整数値で再計算すると前年より55億kWh、0.63%増えた。しかし、企業・事業所他部門の内訳では製造業が16億kWh減り、業務他が57億kWh増えていた。全国合計と個別業種の変化は一致しない。

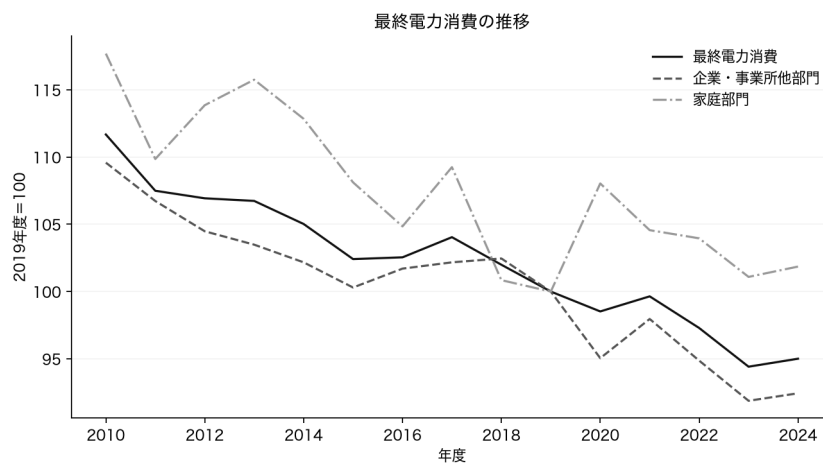
上位部門では企業・事業所他37億kWh増、家庭19億kWh増、運輸は公表値で変化なし。丸め差の変化-1億kWhを含めると全国計の増加と一致する。全国計は2019年度比では5.0%減、2010年度比では14.9%減だった。

定義と限界

最終電力消費はエネルギー転換部門の消費を除く全国の年度値で、発電量や特定電力会社の需要ではない。整数値からの変化率は、精密値に基づく公表率と末尾が違ふことがある。生産量、気象、料金、設備効率の影響を分離した分析ではない。

自社の記録で確認すること

工場なら購入電力と自家消費を合わせ、製品別の生産量、稼働時間、休止設備を記録する。総量の減少と、製品あたり使用量の改善は別に確認する。



電力消費の部門別推移

出典：資源エネルギー庁2024年度エネルギー需給実績・確報印刷5ページを加工。2026年9月7日確認。公的機関の作成・承認ではない。